

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 大洗町立大貫小学校

担当教諭名 吉澤 洋子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年10月 5日 (水) 午前10:30~午後1:30
対象学年と人数	2年1組 37名 レインボー教室 (外国籍) 児童 7名
派遣講師名と出身国	吉谷 アンナ [インドネシア]
活動の内容	<ul style="list-style-type: none">○ インドネシアの文化や伝統を学ぶ。○ インドネシアの言葉を教わる。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	これからもこの活動を続けてほしい。ワールドキャラバンを実施したことにより、「もっと外国のことを調べてみたい。」「他の国はどんなのだろう。」など、外国への関心が高まり、子どもたちの学習意欲が高まった。今後もこのような機会を活用し、外国の方々とコミュニケーションをとり、外国の文化に触れたりすることができるようにしたい。
生徒・保護者等参加者の感想	2年児童の感想 <ul style="list-style-type: none">・日本にはないものを見せていただきありがとうございました。ドリアン (模型) を見たとき、そんなにとがっているのかと思いました。・わたしは、ツーリストマップでインドネシアを見ました。いろいろな草原や海があってインドネシアに行ってみたいと思いました。・インドネシアの食べ物とか植物とかを教えてくださいありがとうございました。インドネシアの楽器を見てびっくりしました。楽器の使い方が分かりました。・インドネシアの動物のことがよく分かりました。オラウータンとめずらしい鳥のことがおもしろかったです。
先生の感想	<ul style="list-style-type: none">・大貫小学校には、インドネシア国籍の児童が数名いるが、一般の児童がインドネシアの国について理解を深める機会は今までなかった。このワールドキャラバンにより、インドネシアの国が身近に感じられるようになり、有意義な時間を過ごすことができた。このような機会を生かし、低学年から国際理解教育を積み重ねることにより、国際理解への意識を高めたい。・日頃の学校生活では経験することのできない貴重な体験ができた。

